



令和5年9月28日(木)

## PRESS RELEASE

# 飛鳥★星まつり 2023 を開催します！

**ASUKA STAR FESTIVAL**  
**飛鳥星まつり 2023**  
 星と人と四神が響き合う時間

ギャラリートーク  
 ●易学者が語る「感星時間」●キトラ天文図を読み解く●キトラ古墳の天文図は日本最古のプラネタリウム？

星のワークショップ  
 ●星のテラリウム●天文図を染める●鏡師に教わる「海歌前篇」の書き方●星のヒンメリ●星の万華鏡●星のキャンディ●古代色を楽しむ●ベンガラ染め●生まれた日の地球儀を作ろう。

キトラ星マルシェ  
 ●キトラ星マルシェ de ミュージック●明日香盆踊り

星めぐりコンサート  
 「銀河鉄道の夜」  
 「海人族の星の記憶～ペガとアルタイル」

**キトラ古墳壁画発見40周年記念**

10月14日(土) 15日(日) 主催 国营飛鳥歴史公園  
 企画・プロデュース 飛鳥むすびworks  
 キトラ古墳壁画体験館四神の館 KITORA TUMULUS



平素より国营飛鳥歴史公園の運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

国营飛鳥歴史公園では、10月14日(土)～11月12日(日)に「飛鳥星まつり 2023」を開催します。国宝キトラ古墳壁画天文図は、2019年に科学的な分析に耐えうる本格的な星図として、天文学史上極めて重要であると、日本天文遺産に認定されました。また、今年は壁画が発見されてから40周年記念になります。日本天文遺産認定や、発見40周年を記念して、「飛鳥時代と宇宙・星」をテーマにさまざまなイベントを開催します。飛鳥の歴史と科学、芸術、手仕事と食を通して「星と人と四神(大地)が響き合う時間」を提供します。

ご多忙中のことと存じますが、皆様には取材ならびに記事掲載のほど、よろしくお願い致します。

お問合せ先 国营飛鳥歴史公園 飛鳥管理センター広報担当 伊藤・滝・深町・東山

TEL 0744-54-2441 〒634-0144 奈良県高市郡明日香村大字平田 538 <https://www.asuka-park.jp/>

# 【『飛鳥★星まつり2023』イベント概要】

イベント期間 10月14日(土)～11月12日(日)

メインイベント日 10月14日(土)・10月15日(日)

## ◆ ギャラリートーク ◆

### ① 「キトラ古墳の天文図は日本最古のプラネタリウム？」 \*事前申し込み

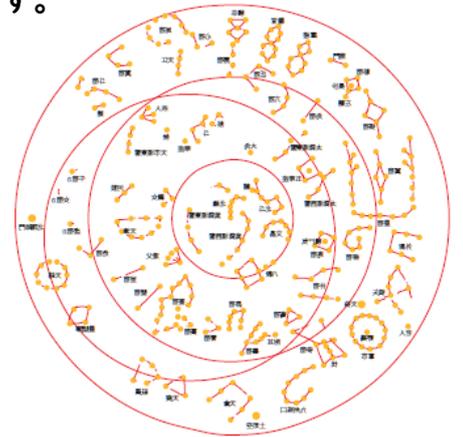
講師:明石市立天文科学館 館長 井上 毅

今年がプラネタリウム100周年。日本の子午線の町、明石市より井上館長をお招きし、プラネタリウムの歴史を辿りながらキトラ古墳天文図や古代の暦、時間についてお伝えいただきます。西洋と東洋における科学の発展の歴史など学びます。

日時:10月14日(土) 13:00～14:30

会場:四神の館 シアタールーム

定員40名様



### ② 易学者が語る「惑星時間～星々が人に与える力とは？」

講師:京都府易道協同組合理事長 泰志龍

古来より占星術師は、宇宙に存在する天体が、私たちの精神や行動を支配していると考えてきました。特に太陽・月、そして太陽系の惑星がもたらす影響は大きく、古代の人々はその効果を知る事で、生活に活かそうとしてきたのです。易学者・泰志龍が「惑星時間」の神秘的な世界を御紹介致します。

日時:10月14日(土) 11:00～12:00

会場:四神の館 四面スクリーン



### ③対談「キトラ天文図を読み解く。黄道のずれは故意か過失か。」

\*事前申し込み

講師:京都大学 大学院理学研究科 齋藤昭則准教授・奈良文化財研究所 若杉智宏研究員

東アジア最古の天文図。当時の「天文博士」が星空の動きをどのように理解していたのかをたどってみます。そして、キトラ天文図の最大の謎である「黄道のずれ」が、故意にずらしたもののなのか、過失によるものなのか、理学博士と考古学研究者による対談を行います。

日時：10月15日（日） 10:30～12:00

会場:四神の館 シアタールーム

定員 30 名様



## ◆ 四神の館—workshop— ◆

### ①「星のテラリウム」 \*事前申し込み

講師：苔えくぼ

苔と石を使って小さなガラス容器の中に飛鳥の星空の世界を表現する。そんな世界に立った一つの、オリジナル苔テラリウム作りを体験するワークショップです。

\*苔えくぼさんの制作されている苔テラリウムは、下処理をして苔を1本1本又は数本を束にして挿し植えて制作されています。また、使用されている苔は、苔生産者、苔販売者さんを通じて仕入れさせていただいた苔を使用されています。

日時：10月14日（土） 午前の部 10:00～12:00 午後の部 13:30～15:30

定員:各回 15 名様 小学生以上(小学生の場合は保護者1名同伴)

参加費:3000 円



## ② 「キトラの土染め・ベンガラ染め 天文図を染める」 \*事前申し込み

講師：ヤマツミワタツミ 小淵ユタカ・大和絵奈

キトラ古墳と言えはアジア最大の天文図。壁画に使われているベンガラ、酸化鉄の赤で、内規、外規、黄道、赤道の天文図の4つの円を描いた大きな布をご用意。様々な星の伊勢型紙を使って、自由にベンガラ染め。ご自分だけの天文図を作ってみませんか。四神やその他の型紙もご用意。タペストリーや風呂敷にもなります。キトラの大地の土を焙煎して作ったインクは、この日だけのお楽しみ。

日時：10月15日（日） 10:00～12:30

定員：10名様

参加費：3000円

会場：四神の館 体験学習室



\*小さな星座の型紙は料金に含まれています。その他はオプションとなり、自動車やランプなどの小さな型紙は1枚500円、四神のシルクスクリーンや大きい型紙は1枚1000円の追加料金となります。あらかじめ御了承下さい。

## ③ 「キトラ古墳四神の館鑄造・海獣葡萄鏡を磨く

鏡師に教わる水鏡への入口」 \*事前申し込み

講師：石谷ヒロム

古来では、命そのものを示すと言われている鏡。人は水面を見て水鏡にし、水鏡はいつしか金属の銅鏡になりました。これは、水鏡をたどる入口の銅鏡磨きのワークショップです。海獣葡萄鏡を磨いて、この世で1つの自分の鏡を創りましょう。

\*石谷さんの水鏡の深さは、その鏡に映る自分の方が本物だと感じるほど。その水は非常に清らかで、澄んでいます。鏡を磨いた後、きっと心身が清々しい水で満たされます。

日時：10月15日（日） 13:30～15:00 定員：10名様

参加費：3000円 会場：四神の館 体験学習室



#### ④ 「生まれた日の地球儀を作ろう」 \*事前申し込み

講師：京都大学 大学院理学研究所 小田木洋子

みなさんの生まれた日や記念日など特別な日の地球儀を工作で作りましょう。

\*2000年2月8日以降ならいつでもok。お申し込み時に「何年何月何日」の地球を希望かお伝え下さい。

日時：10月15日(日)

午前の部 11:30~12:30 午後の部 14:00~15:00

会場：四神の館 ホワイエ

定員：各回15名様(付き添い1組2名様まで)

参加費：500円



#### ◆ 星マルシェ ◆

星と明日香を中心とした食と手仕事のマルシェを開催。

日時：10月14日(土)・15日(日) 10:00~15:00

会場：四神の広場

出店者 ★は飲食 ■はグッズ ◆はワークショップ

14日(土)・15日(日)両日

★CAFÉ-NeKKO (大和野菜を使ったビーガンプレート)

★もりや工房 (ビーガンスイーツ)

◆iroha\* (焼き菓子販売とキャンディーポップ作り体験)

■OKI MINERALS (鉱物・化石・流木)

■アイノワ(体を整えるグッズ)

■en fleur (星や天文図の小物)

14日(土)のみ

★黒猫亭(スパイスカレー)



★osanji (焼き菓子とわっぱ弁当)

◆ベンガラ染め・ヤマツミワタツミ (手ぬぐいやストールをベンガラで染める)

◆星の万華鏡(オリジナル万華鏡)

◆星のヒンメリ(モビール作り)



15日(日)のみ

★Meli-Mero(ガレット・オーガニッククレープ)

★季節の薬膳まいことこと(薬膳ランチボックス・季節のお稲荷さん)

★オーガニック・ヴィーガンカフェはなさか(オーガニックバーガー・スムージー)

■HOSSOGE(四神&天文図のグッズ)

◆星の茶席(自家栽培の台湾茶・お菓子)



## ◆ 星マルシェ de ミュージック ◆

- ① 星の王子様がバイオリンを、プレアデス星人が鍵盤ハーモニカを奏でながら、飛鳥星まつりのマルシェ会場を練り歩きます。通りがかったら、手拍子で是非ご一緒にお楽しみ下さい♪

日時：10月14日(土)・15日(日) 10:00~12:00



- ② 明日香盆唄で輪踊り

高松塚古墳が発見されて、村中が喜んで作られた明日香盆唄。飛鳥大仏、石舞台、飛鳥川、飛鳥の名所がたくさん入った唄です。その当時に作った、四神や北斗七星、女人像の藍染めの浴衣で踊り手、歌い手が登場。キトラ古墳壁画発見40周年を記念して、皆さんで楽しく歌い踊りましょう♪

日時：10月14日(日) 14:00~14:30



## ◆ 星めぐりコンサート ◆

### ① 「銀河鉄道の夜」 \*事前申し込み

夕暮れ時、四神の広場が星の街になります。宮沢賢治さんの不朽の名作「銀河鉄道の夜」を、ケルティックハープとライアー(立琴)、スウェーデンのヴァイオリンの、星に繋がる三弦の響きと、星の煌めきのようなピアノの贅沢な演奏に、朗読というスペシャル星めぐりコンサートでお届けします。キトラ星マルシェで皆さんが染めた、美しいベンガラ染めの天の川が舞台となり、星ソムリエ土井正治さんによる、球体に星々が美しく映し出されるダジックアースが出現します。お楽しみに。[物語]ジョバンニは学校の後に街の印刷所で働いています。お父さんが北の海へ出稼ぎにいったまま帰ってこない事もあり、クラスの友達からいじめられています。ケンタウル祭りの夜、星空から突然やって来た銀河鉄道にジョバンニは乗っていました。そこには大切な友達カンパネルラがいて、星々の旅へ。本当の幸せとは。今だからこそ分かち合いたい星の物語がここにあります。

日時：10月14日(土) 開場:17:00 開演:17:30~19:00

会場:四神の広場 \*雨天:四神の館 四面スクリーン

定員:30名様 入場料:大人3500円 小学生1500円 \*小学生以上対象



### ② 「海人族の星の記憶~ベガとアルタイル」 \*事前申し込み

アジア最大の天文図があるキトラ古墳が見守る大地、阿部山。この大地にやって来た丹波族は、かつて北極星をたよりに、大海原を行き来していた海人族と呼ばれる者達でした。現代よりもっと、星と人が共に生きていた時代から、その命を繋いで連綿と伝えてきた星のお話を、今ここに、舞と、クリスタルボウルとピアノ、語りと奄美のシマ唄で現します。[物語]人と星が共にあった時代、丹波族という海人族に伝わる、北極星と北斗八星の天女達の伝説。ある日その天女の1人が、家族の元を離れ西へと旅をしました。西に辿り着いた時、天女は西王母、こと座のベガと呼ばれるようになりました。そこへ東からやって来た星がありました。その星は東王父と呼ばれる、わし座のアルタイルでした。星詠みの澄み渡る眼を持つ海人族が、循環と調和の世界を生きていた、その証の物語を、この時代になったからこそ、皆さんと分かち合いたいと思います。

日時：10月15日(日) 開場:17:00 開演:17:30~18:30 シェアタイム:18:40~19:10

会場:四神の館 四面スクリーン 定員:30名様

入場料:大人3500円 小学生1500円 \*小学生以上対象



## ◆ 期間中関連イベント ◆

### ① 「飛鳥の星景展」

石舞台古墳や飛鳥古京、藤原宮跡、いにしへの飛鳥の風景と星空の写真展を開催。  
いにしへの風景と星のコラボレーションをお楽しみください。

日時：10月14日（土）～11月12日（日） 9：30～17：00

会場：四神の館 ホワイエ 観覧自由

協力：アマチュア写真家 薄 康仙



### ② 「ダジック・アース弾き語りコンサート」 \*事前申し込み

出演：バリトン歌手 田中純（J教授） 京都女子大学名誉教授 日本シューベルト協会会員  
ダジック・アース解説：足立唯夏（YUIKA）FM宝塚パーソナリティ 星空案内人

ダジックアースに映し出される宇宙と、透き通る歌声のコラボをお楽しみいただきます。

日時：10月29日（日）開場：12：30 開演 13：00～15：00

定員：30名 会場：四神の館 シアタールーム

参加費：大人2000円 小学生1000円 未就学児無料



### ③ 「キトラ古墳発見40周年 ピアニスト渡会光春奉納演奏」

11月7日（火）は、キトラ古墳壁画が発見された日です。その40周年を記念して、1年を通して星めぐりコンサートを主催している明日香村在住ピアニスト渡会光春が日頃の感謝を込めて奉納演奏します。

日時：11月7日（火） 14：00～14：45

参加費：無料

会場：キトラ古墳墳丘前

※雨天の場合 四神の館 四面スクリーン

